



AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業
 浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション
 JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

MEDICAL INNOVATION FORUM

メディカルイノベーションフォーラム

2016

平成28年 **12月19日** 14:00～18:00 (情報交換会 18:15～20:00)
 静岡新聞社・静岡放送 21世紀倶楽部 17F 静岡新聞ホール
 静岡県浜松市中区旭町11-1 プレスタワー

主催:浜松医科大学

共催:静岡大学、豊橋技術科学大学、光産業創成大学院大学、静岡県、浜松市、浜松医工連携研究会(浜松商工会議所)
 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

14:00～14:30

開会挨拶 浜松医科大学 学長 今野 弘之
来賓挨拶

14:30～15:40

第一部 基調講演

医療機器開発におけるアカデミアからのアプローチ
 千葉大学フロンティア医工学センター 准教授 **川平 洋氏**

プロフィール

昭和42年鹿児島県生まれ。平成4年千葉大学医学部卒業。医師免許取得。千葉大学第二外科入局、外科認定医/専門医/指導医、消化器外科専門医/指導医。医学博士。専門領域は上部消化管外科。2010年から千葉大学フロンティア医工学センター准教授。外科医の高機能化を達成する手術支援機器、人工知能(Deep Learning)を利用した画像診断支援を研究テーマとする。夢は装着型外科医ロボットの開発と医療従事者の負担低減を実現すること。千葉県産学官医療機器開発会議C-squareメンバー。



産学連携による新たな製品開発の可能性

株式会社ニットー 代表取締役 **藤澤 秀行氏**

プロフィール

横浜国立大学工学部卒業。2006年株式会社ニットー代表取締役に就任。横浜市内の製造業3社を関連会社化し、廃業する企業を引継ぎ、雇用を守りながらも事業拡大を進める。社内で開発、設計から金型、量産までの製品づくりを一貫生産できる体制を築く。最近では「町工場から楽しいモノづくりを Made in JAPAN」をテーマに自社製品を開発。中小製造業の自社製品ではじめてクラウドファンディングを活用し製品化を実現。インターネットを活用したマーケティングとプロモーションにより世界43ヶ国への販売を行った。アイデアと技術力を武器に、常に新しいモノづくりの可能性に挑戦し続けており、その取組みが多くのメディアでも取り上げられている。



休憩(15分間)

15:55～17:50

第二部 パネルディスカッション

医工連携に果たすコーディネーターの役割

■パネリスト

- 光産業創成大学院大学:光医療・健康分野 教授 **江田 英雄**
- 静岡大学:イノベーション社会連携推進機構 産学連携推進部門長 **鈴木 正人**
- 豊橋技術科学大学:研究推進アドミニストレーションセンター 特定准教授(URA) **土谷 徹**
- 浜松医科大学:光先端医学教育研究センター・産学官連携推進部長 **小野寺 雄一郎**
- 千葉大学フロンティア医工学センター 准教授 **川平 洋氏**
- 株式会社ニットー 代表取締役 **藤澤 秀行氏**
- (公財)静岡県産業振興財団ファルマバレーセンター 所長 **植田 勝智氏**
- はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 事業総括 **松浦 脩博**

■モデレーター

浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当)・副学長 **山本 清二**

17:55～18:00

閉会挨拶 静岡大学 学長 伊東 幸宏

18:15～20:00

情報交換会 (会場:静岡新聞社・静岡放送21世紀倶楽部 15F) 【参加会費 4,000円/1名】





開催趣旨

メディカルイノベーションフォーラムは、浜松・東三河地域を中心とした医療分野の製品・技術開発の推進を目的として開催され、今回で第10回目を迎えます。

本地域は、浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション(文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム)、文部科学省革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)により産学官が一体となって積極的に光・電子技術を基盤とした新産業創出を進めているところです。

一方、2010年度からは「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」(JST地域産学官共同研究拠点整備事業)が設置され、医工連携活動を活発に展開してきました。加えて、2015年度は浜松医科大学が国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の国産医療機器創出促進基盤整備等事業全国11拠点的1つとして、地域内外の医療機器企業の開発を担う人材の育成、そして新たな医療機器開発に関する医工連携活動の展開が期待されています。さらに、本年度には、文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム支援対象地域に選ばれ、「光の先端都市「浜松」が創成するメディカルフォトニクスの新技術」をテーマとして益々医工連携、医療機器開発が活発になって参ります。

今回のメディカルイノベーションフォーラムにおきましても、医工連携活動の状況や課題を医療機器の開発に携わる多くの方々に知っていただくとともに、医療機器開発に関する取り組み、課題等について議論いたします。

医療機器の研究開発・技術開発・製品開発・事業化などに関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしております。

国産医療機器創出促進基盤整備等事業とは?

医療ニーズを満たす医療機器の実用化が医療の発展に寄与することから、医療機関と医療機器企業との連携を効果的に進める必要があり、その鍵を握るのは医療機器の研究開発を担う人材という観点に立って、医療機関において医療機器の開発人材を育成することを通じて、医療機器開発を担う医療機関の体制を整備し、国内外の医療ニーズを満たす医療機器開発の推進を図るための事業です。

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーションとは?

産学官金が横の関係で結び付く産業構造を構築し、最先端の光・電子技術を基盤として、「輸送機器用次世代技術産業」「新農業」「健康医療産業」「光エネルギー産業」の4分野で新産業創出を目指す地域イノベーション戦略支援プログラムのひとつです。

「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」とは?

浜松東三河ライフフォトニクスイノベーションが創出を目指す4つの新産業の1つである「健康医療産業」を担い、地域の特徴を活かした技術力と産業開発力と医学シーズ・医療ニーズとの融合を促進することにより、新技術の事業化を推進する拠点です。

フォーラム
お問い合わせ先

国立大学法人浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部 TEL.053-435-2681 URL:<http://www.hama-med.ac.jp/>

AMED国産医療機器創出促進基盤整備等事業

浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション

JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」

メディカルイノベーションフォーラム2016参加申込書

参加費 無料(情報交換会 4,000円/1名)

申込要領 下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

申込期限 平成28年12月14日(水)

メディカルイノベーションフォーラム

参加申込書(国立大学法人浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部)

FAX 053-435-2179

E-mail chizai@hama-med.ac.jp

企業・団体名	TEL	-	-
	FAX	-	-
所在地	〒		
所属・役職			
氏名			
E-mail			
情報交換会	出席 ・ 欠席		出席 ・ 欠席